

# 平成 26 年度第 3 回「埜町地域公共交通活性化協議会」議事録

日時 平成 27 年 3 月 26 日（木）午後 1 時 30 分

場所 埜町農村勤労福祉会館 2F 小研修室

出席 19 名（別紙名簿のとおり）

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付

## 3. 会長あいさつ

## 4. 議事

園部会長が議長となり議事を進めていった。

### （1）平成 26 年度市町村生活交通バス運行実績について

事務局より、資料に沿って説明。この段階では質問等なく進んだ。

### （2）常豊地区デマンドタクシー実証運行について

#### ①常豊地区デマンドタクシー実証運行の実施結果について

事務局より次第資料及び別紙資料に従って説明した。

その後、今回運行を委託した埜タクシー代表取締役の鈴木岳委員より意見をもらった。

#### 質疑・意見

鈴木岳委員) 今回のデマンドタクシーを運行してみて感じたことは、利用者がほとんど病院の利用者で買い物客が全くいなかったように思える。商店街へ人を呼び込みたいので、この実証運行はあまり意味のないものを感じた。

芳賀宏美委員) 商工会としても、常豊地区のような他地区の住民や病院、道の駅を利用したお客様を商店街に呼び込むことは目標であるがなかなか難しい。デマンドタクシーも含めて商店街活性化のためいろいろと考えていければと思う。

遠藤委員) 笹原地区では、常豊だけでなく笹原でも運行してほしいという声があった。笹原でも運行できないか。

- 事務局) 来年度は笹原方面での実証運行を考えている。
- 星委員) アンケートの回収率が42.7%とあまり高い数値ではないような気がする。回収率があがるような工夫が必要であると思う。また、アンケートの中で利用していない方の理由で、運行時間が合わないといった声があったので、時間の工夫も必要ではないか。
- 事務局) アンケートについては、返信用封筒は切手を貼らずに送れるものにする等工夫はしたが、まだまだ回収率を上げるような工夫は必要だと感じている。しかし、40%以上ということで、町としては比較的高い数値であると感じている。
- 鈴木創一委員) デマンドではなく、運転できない人や高齢者に対してタクシー料金の半額で提供してみるのはいかがでしょうか。実際にデマンドタクシーを本格運行させ、町内何路線かを走ると考えると、財政負担が多くなると思う。
- 吉岡委員) 今まで出た意見を順に追っていくが、まず商店街を巻き込むということは確かに大事なことで町の活性化にも繋がる。しかし、デマンドタクシーを始めた理由として日中の空白時間帯を何とかしたいということで始まったと思うので、今回の実験は比較的良好な結果であると思う。時間については、通常のタクシーに比べて不満を感じていると思う。乗合タクシーだから時間はかかるのはしょうがなく、その分安く提供できているということを利用者に理解してもらう必要がある。タクシー料金の半額という話もあったが、これも良いアイデアであり、実施してみるのも面白いと思う。ただ、サービスを増やせば増やすほど財政負担も多くなる。二つのバランスを考えて実施しなければならないと思う。たとえばグループタクシーも一つの方法である。
- 園部会長) 老人クラブ連合会会長として意見をいただきたい。
- 木村委員) 現在の高齢者は一人暮らしが多く、手取りが少ない。また日用品が不足している人が多く、このような安く利用できるデマンドタクシーは非常にありがたいものだと思う。ただ理解していない人も多いと思う。理解していないから利用していない人もいると思うので、工夫が必要だと思う。また高齢者は自分本位の人が多いので、高齢者の意識を変えることも必要だと思う。行政区長や民生委員の協力を得ながらやっていければと思う。
- 金澤秀世委員) 「デマンド」とはどういう意味か。おそらく高齢者の方も理解できていないと思う。
- 吉岡委員) 乗合という意味であるがデマンドタクシーは事前予約が基本なので「事前予約型タクシー」となる。
- 金澤秀世委員) それでも高齢者にとっては分かりやすいと思う。
- 星委員) アンケートの結果を見ても、実証運行を知らなかったという回答もあったので、やはり高齢者の理解を深める工夫が必要であったと思う。
- 事務局) 今回のPR不足は反省材料であり、それが利用率の低下に結び付いた部分

もあると思う。意見にもあったように、行政区長の協力はもちろんこと、民生委員や見守り隊とも連携していきたい。

## ②今後の方向性について

事務局) 今後の方向性について、平成 27 年度に笹原地区で実証運行を行う。地方創生の一環での公共交通対策であり、今回の常豊地区、そして次回の笹原地区での実証実験をもとに、町として独自の方向性を模索していき、総合的に考えた中でデマンドタクシーの本格運行を実施していきたい。

鈴木岳委員) 笹原地区は福島交通が何本も走っている。具体的にどこを走るのか。

事務局) 具体的にはまだ決まっておらず、現段階では笹原方面での運行を考えているのみとなっている。4 月以降になるが、早々に協議会を開催し委員の皆様のご意見をお聞きしたい。それまでには事務局のある程度の案を示していきたいと思う。

## (2) その他

5. その他

6. 閉会

No.	団体名	所属 職名	氏名	(敬称略)		
				区分	出欠	備考
1	埴町	副町長	そのべ ひでつぐ 園部 秀次	町長が指名するもの	○	
2	福島交通株式会社	白河総括営業所長	いそがい けんいち 磯貝 憲一	公共交通事業者	○	
3	有限会社埴タクシー	代表取締役	すずき たけし 鈴木 岳	公共交通事業者	○	
4	有限会社ファミリータクシー	代表取締役	すずき そういち 鈴木 創一	公共交通事業者	○	
5	国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所	調査課長	はしもと ゆきお 橋本 幸雄	道路管理者	×	
6	福島県棚倉土木事務所	所長	たかはぎ たかし 高萩 俊	道路管理者	○	
7	棚倉警察署	地域交通課長	くろがね こういち 黒金 浩一	棚倉警察署長又は その指名する者	○	代理
8	行政区長連合会	会長	かなざわ ひでとし 金澤 秀世	地域公共交通の利用者	○	
9	埴町PTA連合協議会	会長	さとう こういち 佐藤 光一	地域公共交通の利用者	×	
10	埴町老人クラブ連合会	会長	きむら すみお 木村 澄男	地域公共交通の利用者	○	
11	埴町青少年育成町民会議 (埴地区推進協議会)	会長	はら むねみつ 原 宗光	地域公共交通の利用者	×	
12	埴町青少年育成町民会議 (常豊地区推進協議会)	会長	かみつま ひとし 上妻 均	地域公共交通の利用者	○	
13	埴町青少年育成町民会議 (笹原地区推進協議会)	会長	まつもと おさむ 松本 修	地域公共交通の利用者	○	
14	埴町婦人会	会長	えんどう せいこ 遠藤 勢子	地域公共交通の利用者	○	
15	埴町婦人会	代表	はが ことし 芳賀 とし子	地域公共交通の利用者	○	
16	ふくしま自治研修センター	総括支援アドバイザー	よしおか まさひこ 吉岡 正彦	学識経験者	○	
17	国土交通省東北運輸局福島運輸支局	首席運輸企画専門官	とおしま たかのり 遠嶋 孝則	町長が必要と認める者	○	代理
18	福島県県南地方振興局	県民環境部主幹兼副部長 総務兼県民生活課長	かげやま つよし 影山 剛	町長が必要と認める者	○	代理
19	埴町商工会	事務局長	はが ひろみ 芳賀 宏美	町長が必要と認める者	○	
20	はなわ共栄会	代表	よしだ まさひろ 吉田 昌弘	町長が必要と認める者	×	
21	はなわよんく協同組合	会長	かつた のぶひろ 勝田 宣宏	町長が必要と認める者	○	代理
22	埴町社会福祉協議会	事務局長	おおし ただゆき 大越 忠幸	町長が必要と認める者	○	
23	埴厚生病院	事務長	かとう ひろし 加藤 洋志	町長が必要と認める者	×	
24	福島交通労働組合白河支部	棚倉分会長	はら きいち 原 喜一	町長が必要と認める者	○	